

平成 30 年度以降の取組みについて

1 新たな『交流』事業の実施

- 事業者同士の交流事業（1-1）
目的：市全体の産業活性化につながるイベント等への発展
新たな起業者やイベント実施主体の掘り起こし
⇒ 提案を事業化する仕組みづくり（3-1）
- 起業者の交流機会の提供（2-3）
目的：起業後間もない事業者の認知度向上、販路拡大、意欲向上
内容：テーマ別の交流会やマッチングの実施
(飲食店同士、貸しスペースのある店舗×イベント企画者 等)

背景として…

- 起業者の地域貢献意識の高まり
例) 地域の活性化に貢献したい、地元産野菜を使いたい 等
- 特色ある飲食店の開業増加
例) イベントや物販スペースの併設、変わったお酒の飲み方を提供 等
- 若手(30代)起業者、女性起業者の増加
- 市内の飲食店や商店街とコラボしたイベントの相談実績



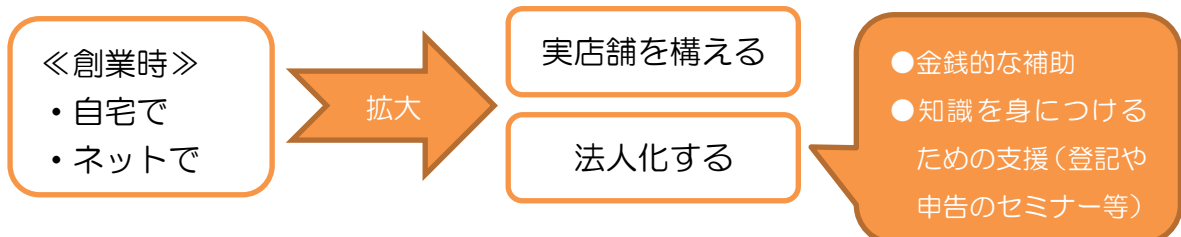
点在している「人」をつなげる



新たな産業振興の取組

2 起業者への成長支援制度の構築

低リスクな形態（自宅での開業やインターネットビジネスなど）で起業した事業が軌道に乗り、事業を拡大していく際の支援策を検討する。（1-3）



3 起業・創業に触れる機会づくり

学生向け事業の再検討、子ども向け事業の検討（1－3）

4 チャレンジを応援する仕組みづくり

創業準備者のチャレンジを支援する手法の検討（1－3）

例) チャレンジショップ、コワーキングスペース、起業家交流会 等

5 農商連携の展開

⇒ 新たな「食に関するイベント」への展開に向けた支援（2－1）

⇒ 販売機会の拡充、事業化に向けた支援（2－3）

6 商店街での取り組み

各商店街へのヒアリング

⇒ イベントや生活支援サービス実施に向けた支援（2－2）

7 新たな人材育成支援事業

⇒ 新たな人材育成事業の実施に向けた検討、実施（3－2）